



2019.8.No.447

組合員とJA・地域を結ぶコミュニティ広報Family



+++++
うちの
めごたま
+++++

内町地区
らくと
松坂 楽叶くん 7歳
おうた
桜汰くん 4歳
お父さん 松坂 宏之さん (36歳)
お母さん 明世さん (31歳)

ご両親からひとこと

お祭り、そして「山車」が大好きな兄弟です。
“マイ太鼓”を叩いて、毎日がお祭り気分だね。
これからも兄弟仲良く、元気に過ごしてほしいです。
楽叶、桜汰、いろんなお祭り、いろんなところに行って
楽しい思い出いっぱい作ろうね!

第71回 通常総会開催



サン&リピの
新商品を
紹介します
ランラン♪

「ラララ ラ・フランス」
「ラララ サクランボ」

「ランランラララ ラ・フランス」は生産量全国No.1の山形県産ラ・フランスを使用、ラ・フランスの芳醇な香りとサラリとやさしい口あたりをお楽しみください。

山形の代名詞、真っ赤な宝石「サクランボ」を使用した「ランランラララ サクランボ」は、果肉を頬張ったときのようなやわらかな果実味が感じられるまろやかなドリンクです。

価格はどちらも一箱(280ml×24本入) 税込2,700円です。ご注文は、購買部生活課、電話52-2012へお願いします。

新品
売ります!
買います!
求めます!
農機センター
☎52-2356

オータク乗用溝切機
ハンドル自在式
価格応談

希望者多数の場合は抽選となりますが、8月22日(木)を締切日とさせていただきます。使わない農機がありましたらご連絡下さい。



- 理事會報告
- 平成31年4月16日 第1回
 - 不良債権処理承認
 - 200000千円超の信用供与の決定承認
 - 大口貸出先への貸付承認
 - 平成30年度基準日資産査定の結果承認
 - 平成30年度決算承認
 - 平成30年度事業実績(兼ALM資金運用報告)
 - 貸借対照表及び損益計算書の内容
 - 平成30年度剰余金処分案
 - 事務リスク管理規程の一部変更承認
 - 固定資産(ドライアイス用冷凍庫)の処分承認
 - 組合員の加入・脱退(権利の移動)の状況承認
 - 報告
 - 平成31年度事業推進要領(案)
 - 反社会的勢力等との取引排除にかかる対応状況
 - 事務ミス等の発生状況
 - 自主検査の実施・改善状況
- 令和元年6月8日 第3回
- 理事報酬の各理事への支給額・支給時期・支給方法承認
 - 令和元年5月22日 第2回
 - 米穀の共同計算の実施単位及び共同計算の支出項目承認
 - 第71回通常総会提出議案承認
 - 報告
 - 農事組合法人ドリムフアーマーズの通常総会の内容
 - 第71回通常総会開催要領
 - JA全国監査機構における「平成30年度監査報告書及び監査概要書」
 - 監事による平成30年度現物監査(3月末基準)及び平成30年度決算監査の報告書
 - 平成30年度内部監査業務活動報告
 - 平成30年産「GAP」出羽燦々+加算金の支払
 - 春の地区農事座談会開催
 - モンテディオ山形支援募金運動の取り組み
 - 令和元年度連続職場離脱の取り組み

組合員資格に変更があった場合のお願い

組合員資格に変更があった場合は、当JAの定款に基づき資格変更の手続きを行いますので、JA金山企画管理部へお申し出ください。

JA金山企画管理部
TEL 52-2011

何を・どう・やっても...
結局、変わらない、よくなる、どうしようもない。
時折、強い無力感に苛まれる。他人も自分も、信じられなくなる孤独感。だけど、優しい人のキモチが血液のごとく身体になじんだ瞬間、ほんものの人間の喜びを受け止める。人間ってやっぱり捨てたもんじゃ無い。信じてもいいか?と想う。

あとがき

(阿辰)

コラム 農協人力車-「協同」②「普通」・「普段」のとおり②

- ◆農政の歴史を振り返るといろいろ考えさせられます。農政の中心に置かれてきたのが何だったのかを通じ政策の展開と方向性に興味を抱かれます。
- ◆明治初期の時代では、欧米の農政を導入し、機械化や大規模化などを通じて生産性を高め輸出を重視する、いわゆる「攻めの農業」が志向されていたようです。
- ◆外国から招かれた技術者や学者は欧米式の大規模農業経営こそ理想のあり方だとして、日本も同じ方向をめざすよう勧めたのだそうです。
- ◆当時の政府はこうした外国人の考え方を利用して、市場経済と資本主義システムに馴染んだ農業の発展をめざしたとされています。
- ◆「農政」は、大規模農業こそ未来の姿とする主張と、小規模農業(農家)をどう守るべきかとする主張が議論され続けた歴史でもあります。さて普通・普段通りにどうつなぐ!



「令和」の時代 「協同」の力で「共に」前進

金山農業協同組合
第71回 通常総会

金山農業協同組合第71回通常総会が6月8日、金山町中央公民館で開かれ、平成30年度の事業報告や剰余金処分、役員選任規程の一部変更、令和元年度の事業計画など、全6号議案が可決決定いたしました。

**女性理事登用へ
規程変更**
承認された議案の中で、特微的な事項が二つあります。一つは、女性理事の登用に際して、今年、次期以降の改選のため定款附属書役員選任規程における選任区割りを見直し、全地域より2名の女性理事を登用することに変更したものです。

承 二つ目が、監事監査規程の全文改正についてです。JA全国監査機構による会計監査が平成30年度をもって終了することに伴い、これまで以上に監事監査の実効性確保が求められます。監事を取り巻く様々な環境の変化に対応する必要があるため、今回の定款の一部変更に基づいて、当組合の監事監査規程は総会承認事項から理事会への報告事項となります。

令 和元年度は、第5次三カ年計画の3年目になります。JA自己改革の取り組みによって「農業の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」の実現を確かなものにするためには、農協としての役割を一層発揮してゆくためには財務基盤の強化と経営の安定化をはかっていかなければなりません。

農協として組合員や利用者、地域の農業とくらしを守り、地域に根ざし密接な関係が構築できる事業展開を役員一丸となって行つてまいります。令和の時代も協同の力で共に前進できるように、組合員の皆様の御理解と御協力を御願ひ申し上げます。

役員選任規程の区割り変更に関する上程案に至るまでの協議経過と7地区から5地区に変更する理由などについて質問されました。

沼澤さんは、「定款附属書役員選任規程の区割り変更」に関して、上程案に至るまでの協議経過と7地区から5地区に変更する理由などについて質問されました。



第71回 総会の表彰者

(左から) いら部会の大場孝さん、今田政男さん、松澤信矢さんの代理 松澤勇さん、伊藤潔さん、荒木辰也さん



平成30年度において農業生産活動に顕著な成績を収めた組合員及び団体(敬称略)

- ◎平成30年度大高根農場記念山形県農業賞 金山活粋野菜倶楽部にら部会
- ◎「オールやまがた米づくり日本一運動山形県大会」つや姫の部 優良賞
- ◎「オールやまがた米づくり日本一運動最上地域本部食味コンクール」つや姫の部 最優秀賞 今田 政男
- ◎第21回酒米の里づくりフォーラム「優良酒米コンテスト」出羽燦々の部 全農山形賞 松澤 信矢
- ◎永年勤続組織代表者(10年勤続) 朴山農事実行組合長 伊藤 潔 漆野農事実行組合長 荒木辰也

功労賞

努力賞

- ◎産米改良優良実行組合(上位等級5組合)
- 内町農事実行組合 持越農事実行組合
- 下向農事実行組合 長野農事実行組合
- 杉沢農事実行組合

総会では、片貝の沼澤道也さんから役員選任規程の変更に関する質問を受けました。また、羽場の栗田徹さんからは、質疑を受けましたので要旨を紹介いたします。



役員選任規程の変更に関して質問を行う片貝の沼澤道也さん



協同組合の平等原則による事業利用に関して質問を行う羽場の栗田徹さん

沼澤さんは、「定款附属書役員選任規程の区割り変更」に関して、理事定数の過半数が認定農業者であることは実践的能力者の要件が求められており、選出される候補者が一定の地域に片寄らないように配慮したこと、また、女性の経営参画者2名の枠を新設するため理事の推薦枠を変更することについて回答いたしました。

「食料安保の確立を」
全中政策確立大会
JA全中は、「2019年食料・農業・地域政策確立全国大会」を開き、JAグループの政策提案の実現を求めました。全国のJA代表ら約600人が参加、JA金山から柴田義正組合長が参加されています。(4月24日、東京都千代田区の憲政記念館)

第5次三カ年計画3年目
所得増大・生産拡大・地域活性化実現へ
和元年度は、第5次三カ年計画の3年目になります。JA自己改革の取り組みによって「農業の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」の実現を確かなものにするためには、農協としての役割を一層発揮してゆくためには財務基盤の強化と経営の安定化をはかっていかなければなりません。



議長の今田政男さん

「食料安保の確立を」
全中政策確立大会
JA全中は、「2019年食料・農業・地域政策確立全国大会」を開き、JAグループの政策提案の実現を求めました。全国のJA代表ら約600人が参加、JA金山から柴田義正組合長が参加されています。(4月24日、東京都千代田区の憲政記念館)

食料安全保障を確立
政策提案は、食料安全保障の確立に向け、多様な農業経営の発展、災害に強い農業づくり、地域政策の拡充などを提起。日米貿易協定交渉への万全な対応や品目別対策なども掲げています。

基本計画・農協改革
次期食料・農業・農村基本計画の見直しに向け、産業政策と同時に地域政策や担い手対策が必要であること。農協改革を巡っては、JAの自発的な組織としての成り立ちを踏まえること、准組合員の事業利用は広く地域の実情を把握することが重要とされています。

日米交渉・米政策
日米貿易協定交渉に関し、政府の農林水産物の市場開放水準について過去の経済連携協定で約束した水準を最大限とするとする昨年9月の日米共同声明に沿って進めること。米政策は恒久的な水田フル活用予算確保の堅持などを共有しました。